学校名 石川県立金沢桜丘高等学校 校長名 吉岡 利恭

所在地 〒920-0818 石川県金沢市大樋町16番1号

TEL 076-252-1225 FAX 076-252-1643

URL http://www.ishikawa-c.ed.jp/~sakurh/

1. 研究主題

学習指導要領に定める目標等の実現状況を把握するための、保健と体育における観点別評価規準の検討と指導と評価の一体化の充実

2. 研究期間

平成20年度~平成22年度 3年間 (学力の把握に関する研究指定校事業)

3. 研究の目的

(1) 研究主題設定の理由

生涯を通じて明るく豊かで活力のある生活を営む 資質や能力を育成するために、保健と体育における 観点別評価規準の一層の充実を図りながら、学習指 導要領に定める目標等の実現状況を把握し、指導と 評価の一体化の充実を図ることを目的とした。

(2)調査研究の対象

,			
分野(領域)	内容項目	具体の 単元	評価の観点
保健	現代社会と健康	応急手当	関心・意欲・ 態度 思考・判断 知識・理解
	・球技 (1,2年目) ・球技 ベースボール型 (3年目)	ソフト ボール	関心・意欲・ 態度 思考・判断 運動の技能 知識・理解
体育	体育理論	運動技能の構造と運動の学び方(1,2年目) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方(3年目)	関心・意欲・ 態度 思考・判断 知識・理解

4. 研究の方法・実践概要

(1) 評価規準の設定

- ①具体の評価規準の設定
 - ・観点別評価規準の検討・工夫
- ②学びの姿の作成【参考資料 [表 1]
 - ・生徒の実現状況にあった簡素で効率的な 評価規準の作成
- ③指導と評価の計画の作成
 - ・学習活動,学習内容,具体の評価規準, 評価の観点,評価方法,評価の場面を明 確にした計画
 - ・単元構造図の作成【参考資料 I 表 2】

(2) 学習指導の工夫・改善

- ①年間指導計画の検討・改善
 - ・系統性のある学習内容の実施

②学習計画の作成

- ・学習のねらい,本時の目標,学習内容の明 確化
- ③教材、教具の作成
 - ・各観点の自己評価シート作成
 - ・ワークシート,パワーポイントの作成

(3) 評価方法の工夫

- ①評価規準簿【参考資料Ⅱ表3】
 - ・指導と評価の計画と学びの姿を一体化した 評価記入表
- ②観点別評価記入シート【参考資料Ⅱ表4】
 - ・評価を評点にする換算表
- ③技能の整理表
 - ・各学年で習得する技能の明確化
- ④個人写真シート
 - ・先入観のない、確実で信頼性の高い評価

5. 研究の取組

(1) 1年目

- ①研究対象単元の学習指導要領の内容の把握
- ②年間指導計画の検討・見直しと学年間の系統 化
- ③生徒の各教科・科目の目標と単元ごとの実現 状況を把握して分析・考察の実施
- ④指導と評価の計画の作成
 - ・具体の評価規準を5項目で作成
 - ・学びの姿を5段階で作成
- ⑤評価規準・評価方法を検証し, 簡素で効率的 なものに工夫・改善
- ⑥保健体育科教員相互の共通理解
- ⑦体育理論の学習活動の準備
- ⑧研究授業の実施

(2) 2年目

- ①1 年目の研究の成果を分析・考察して、観点 別評価規準と評価方法をさらに簡素で効率的 に改善
- ②具体の評価規準の検討・改善
- ③単元構造図の作成
- ④指導と評価の計画の改善
- ⑤学習計画を作成
- ⑥体育理論を座学で4時間の実施
- ⑦教材・教具の作成
 - ・グリーンボール(少し柔らかい)やオレンジボール(柔らかい)を使用して,恐怖心を少なくしての学習活動の実施
 - ・雨天時における体育館でのソフトボールの 学習活動の実施
 - ・各観点の自己評価シートの作成
 - ・体育理論と保健のワークシートとパワーポイントでの学習活動の実施

- ⑧評価規準簿・観点別評価記入シートの作成
- ⑨技能の整理表の作成

(3)3年目

- ①新学習指導要領に対応した指導と評価の計画, 学びの姿, 具体の評価規準の作成
- ②学習内容を明確にして,思考力や判断力を身に付ける学習活動や知識・技能を活用する学習活動の工夫
- ③保健体育科教員相互の共通理解をより一層深め,評価規準を適用する際のぶれをなくし, 指導と評価の一体化に向けた学習指導の工夫 と改善
- ④生徒の実現状況にあった簡素で効率的な具体 の評価規準と学びの姿の分析・考察を行い, 妥当性・信頼性のある評価方法の作成
- ⑤「関心・意欲・態度」「運動の技能」は観察で 評価を行い,「思考・判断」「知識・理解」は 学習ノートでの評価を実施
- ⑥具体の評価規準を5項目から2項目ないし4 項目に精選
- ⑦学びの姿を3段階で実施【参考資料 I 表 1】 ・C評価の生徒への手立てを作成
- ⑧体育理論を座学で6時間の実施
- ⑨個人写真シートの作成
- ⑩応急手当の学習活動において,練習用のダミーとAEDを使用しての実習の実施
- ⑪研究授業の実施

6. 研究のまとめ

(1) 研究の成果

①年間指導計画の見直し

「研究のねらい」にもあるように「生涯を 通じて明るく豊かで、活力のある生活を営む 資質や能力を育成すること」を実現するため に、男女の違いをなくし、学年間において系 統性のある学習内容の計画で行った。それに よって、学習内容を復習的な内容・習得的な 内容・活用的な内容と計画的に実施できるよ うになった。

②具体の評価規準の検討・改善

学習指導要領に定められた単元ごとの目標を確認した上で、本校の生徒の実態に応じた「おおむね満足」の状況である生徒の姿を目指して具体の評価規準を作成した。1年目と2年目は各観点の評価項目を5項目で行った。しかし、評価に追われ学習内容や学習活動が充実しない状況が見られた。3年目には、評価項目を2項目から4項目に精選した。それによって、学習内容や評価規準が明確になった。

③学びの姿の検討・改善

1年目と2年目は,生徒の実態に応じた「学びの姿」を5段階で作成して行った。評価がそのまま評点に結びつけることを目的に5段階で行った。しかし,指導と評価を考えたときに,指導したことに対しての評価であることから,指導したことに対して「できているか」あるいは「できないでいるか」を重視して,3年目には3段階の「学びの姿」で評価

を行った。

ただし、A評価の中でさらに高まりのある姿をA〇としてチェックすることにした。それによって、指導と評価の一体化が一層充実していった。また、C評価の生徒への手立てを作成した。

④指導と評価の計画の検討・改善

学習活動・学習のねらい・具体の評価規準・ 評価の観点・評価方法・評価の場面を明確にし て計画を作成した。それによって、この時間に 「何」を目的に「何」を教えるか、「どの場面」 で「どのような方法」で評価するかが明確にな った。生徒達が、ある程度の技能や知識が備わ っていないと関心や意欲が高まらず、思考・判 断においても知識がない中で思考させても深ま りが見られない。また、判断する上で判断材料 が少ないのではないかと考えられたので、単元 の前半に運動の技能、体育理論と保健では、知 識の習得を行い後半に思考・判断を指導評価す る計画で取り組んだ。そして, 単元構造図を作 成して学習活動を行ったことで、ねらいから学 習活動の計画そして評価と一連の流れが把握で きたことで, ぶれがなくなり一層指導と評価の 一体化が充実していった。

⑤思考力・判断力の育成を図る学習活動

この時間の学習内容や本時の目標を書いた学 習計画を作成して, そのねらいを生徒に意識さ せて学習活動を行った。その結果、生徒はこの 時間に「何」をして「目標が何」で「何を評価 される」かが明確になり学習活動に対する意欲 がさらに高まっていった。指導者もこの時間に 「何」を教えるかが明確になったことで、充実 した学習活動が行えるようになった。また、教 材・教具の作成や各学年でどのような技能を身 に付けるかを明確にした「技能の整理表」を使 用して学習活動を行ったことで, 生徒が積極的 に取り組むようになり, 技能の向上が実感でき るようになった。指導者も指導する内容を明確 にしたことで、学習内容・学習指導が充実して いった。それによって、習得した知識を活用し て思考力・判断力の育成を図ることを目的とし た学習活動を実施できた。

(2) 今後の展望

評価において本来は、5段階が望ましいので B評価を規準にA、A○とC、C△の評価の違いを文字(動詞)で表現して誰もがすぐに理解 できる「学びの姿」を作成していきたい。

そして,誰もが共有できる妥当性・信頼性のある評価方法を作成して,さらに学習内容を明確にして生徒が理解しやすく楽しい学習活動を実施していくための工夫と改善を行っていく。その中でも,特に思考力・判断力を身に付ける。学習活動や学習内容の作成と工夫を行っている学習活動や学習内容の作成と工夫を行っていまえている。また,本校の生徒の実現状況に応じた観点別評価の割合を今後検討していき,評価が評点に結びつくことができるようにしたいと考えている。

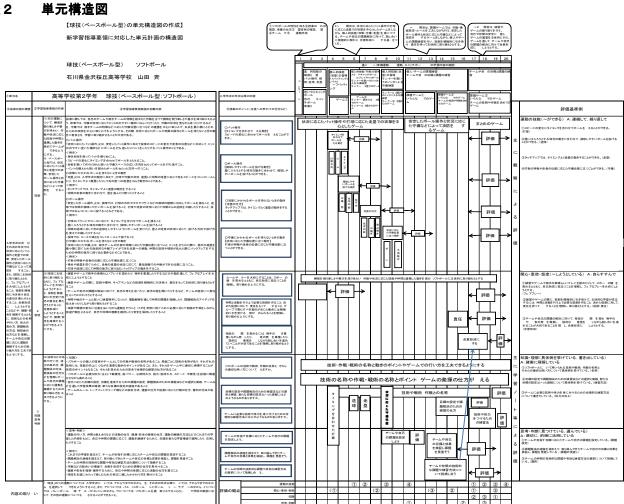
(文責 : 保健体育科 山田 斉)

参考資料 I

学びの姿(3段階) 表 1

	評 価 項 目	評 値 規 準	A	В	С	Cの生徒への手立て
関心	① 役 割	練習や ゲームの際に、役割を積極的に引き受けて、主体的な学習が成立するには、仲間と活動を行う 当任を持要な役割を作ること、決めた役割に対し、責任を持って分担することを理解し、取り組もうとする。	自ら 進 ん で 取 り 組 も う と す る	取り組もうとする	取 り 組 む こ と が で き な い で い る	積 極 的 に 声
意欲	② 合 意 形 成	チーム や自己の 課題の解決に向けて、相互の係 頼 関係を高め、相手の感情や提案者の発音を導重し、建設的な修正意見を提案しながら話し合いを進しることが大切であることを理解し、取り組もうとする	自 ら 進 ん で 取 り 組 も う と す る	取り組もうとする	取 り 組 む こ と が で き な い で い る	を か け て 取 り 組 み 方 に つ い て の 説
態度	③ 健 康 安 全	体調の変化に応じて取るべき行動や、自己の体力の程度に応じてけがを回避するための適正な運動量、けがをを未然に防ぐための留意点を理解し、健康・安全に取り組もうとする。	自 ら 進 ん で 取 り 組 も う と す る	取り組もうとする	取 り 組 む こ と が で き な い で い る	明をする
思	① 合 意 形 成	作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。	適 切 に 見 付け て い る	見付けている	見付けるこ とができな いでいる	具体例を示しての指導
考・判断	② 活 動 仕 方	健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。	選んで活用している	選んでいる	選 ぶ こ と が で き な い で い る	や 積 極 的 に 声 を か け る 指 導 の 実 施
	③ 継 続	球 技を 生涯 にわたって楽しむための自己に適したかかわり方を見付けている。	適切に見付けている	見付けている	見 付 け る こ と が で き な い でい る	
	① 打 撃	走者を置いて作りだされた空いた守備スペースの広い方向をねらってボールを打ち返すことができる。	ス ム ー ズ に できる	できる	できない時がある	
運動の	② 守 備	仲間の 透 球に 対 して 次の 透 球を しや すい ように ボール を受 けたり、 黒上の 走 者の 状 段に 応じてて、 投げる 方向 や 投 げ 方 を 変 えて 中継 したり することが できる。	ス ム ー ズ に できる	できる	できない時がある	個別指導の 実施 教材の工夫
技能	③ 走 星	仲 関 の 走 者 の 動 き に 合 わ せ て , 塁 を 進 ん だ り 戻 っ た りする こと が で きる。	繰り返しできる	できる	できない時がある	声かけ
	①カバー	打球や送球に応じて仲間の後方に回り込むバックアップの動きをすることができる。	繰り返しできる	できる	できない時がある	
	① 特 性 名 称	ソフトボールにおいて用いられる技術や機術、作戦の名称と、それらの適切な用い方について具体例を挙げている。	具 体 例 を 挙 げ て 説 明 し て い る	具体例を挙げている	具 体 例 を 挙 げ る こ と が で き な い で い る	
知識	② 選 択 実 践	目標の設定や課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程について具体例を挙げている。	具 体 例 を 挙 げ て 説 明 し て い る	具体例を挙げている	具 体 例 を 挙 げ る こ い で さ な い で	具 体 的 な 例 や 記 述 内 容 を 示 し て 記
理解解	③ 合理的 練習 方法	ゲームに必要な技術や作力を身に付けるための合理的な練習方法について書きだしている。	具 体 例 を 挙 げ て 説 明 し て い る	書きだしている	的外れな内容を書いている	述の仕方を 具体的に脱 明するなど の指導
	④ ル ー ル 運 営	ゲームのルールや飲合方式、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方などについて書きだしたりしている。	具 体 例 を 挙 げ て 説 明 し て い る	書きだしている	的 外 れ な 内 容 を 書 い て い る	, ,,,

表 2



参考資料Ⅱ

表3 評価規準簿

	3年		(3)は記	しない (2)) ()は手	立てを行い その	果を記入		(3)は記入しない
	間		~5 間目			~ 3 間			
学習	内容・ 決	舌動	学習 リンテーン		뿌필	ねらい			
			学習の進め方・ねらいを理解する	状況に応じたパッ	ット 操作や打球に	なじた走塁での攻撃	#を中心としたゲームを楽しむ	打者の特徴や進塁の)状況 得点 などの な状:
			①ソフト ボールの特性を知る。 ②授業の れを確認・準備の仕方 ③基 的技能の確認と 習	①個人的技能の練 課題ゲーム	習 送球・守備・	走塁等の基 練習	キャッチボール ② ノックによる守備練習	①個人・チームの課題練習	(守備の連携プレー・送球
			④チーム けと ゲーム	作戦の工夫					
	en la			関心・意欲・態度	運動の技能	運動の技能	関心・意欲・態度	運動の技能	思考・判断
	観点			役割	個人技能(攻擊)	個人技能(守備)	合意形成	個人技能(走塁)	合意形成
		А		自ら進んで取り組 もうとする	スムー にできる	スムー にできる	自ら進んで取り組もうとする	繰り返しできる	適切に見付けている
評	価	評価準		き受ける 勢が められている を	出された空いた守 備スペースの広い	に応じて 投げる 方向や投げ方を変 えて中継したりす ることができる	チームや自己の課題の解決に向けて、相互の 関 を高め、 相手の や 者の発 を悪め、 重し、 設的な しながら起し合いを進めること い大切であることを理解し、取り組めるようにする。	て 塁を進んだり戻ったり	作戦などの話し合いの場面で合意を形成するための調整の仕方を見付けている
				取り組むことがで きないでいる	できない がある	できない がある	取り組むことができないでいる	できない がある	見付けることができないでいる
	場面			練習やゲームでの 活動場面	練習やゲームでの 活動場面	練習やゲームでの 活動場面	練習やゲームでの活動場面	練習やゲームでの活動場面	一ド の記述内容
		名		観察	観察	観察	観察	観察	- k
-									
-									
						l	1	l .	l

表4 観点別評価記入シート(5段階用)

						•		•				•			_								;	1 · 2 · 3 · 4 ·		٠		л 5			• •	• •	-				
															ļ										_	. ,											
	1	2	3	4	-			1	2	3	4				ŀ	1)	2	3	4	5			-	1	2	3	4					1					
	楽しさ	協力	敗	安全				課題	作戦 探求	作戦 立案	新課題					個人 (個人() (1					^-	^	1										
30101					+	+						\dashv	\dashv	- 1						_	\dashv	\dashv	+	+	\dashv	\dashv	+	+	+	H			1				
30109						+																								1			1 🗆				
30114	T	П			\top	+						7	7	T	T				7		\dashv	\dashv	T	\dashv	\dashv	1	T	T	T	T			11				\blacksquare
30121] [
30126													Į	П								Ţ			Ţ	П	I						IJ				
30134	<u> </u>	Ш			_	_			Ш			_		ļ							_		4			_		\perp	_	_			1				
30804	1	Ш		_	_	_			Щ			_	_						_		_	_	_	_	_	_	_	_	1	1			4				
30811	1	Н		-	-	-	1		\vdash	_		-	-							_	-	\dashv	_	_	\dashv	-	-	\perp	-	├			┨┌		_	_	
30812	-				-	+	-			_	-	-	+	-+	-		_		_	_	+	\dashv	+	_	\dashv	+	+	_	+	┢			-		_	_	
30813 30814	-			-	+	+-	1			-	_	\dashv	\dashv	+	-				-	_	\dashv	\dashv	+	\dashv	\dashv	+	+	+	+	┝			┨		_	_	
30819					+	+	+					+	\dashv	+	-				_		\dashv	+	+	_	+	+	+	_	+	\vdash			1—		+	_	
30820						+-	\vdash				_	7	+	_						_	+	7	1	_	7	\dashv	+	1	+	H			1				
30822		П			_	+-	T				_	7	+	7	_					\neg	7	十	+	_	十	\dashv	+	_	+	H			1—				
30823												1	1	T							1	1	1		1	1	1			T			1				
30825													T	T																			1	,	人		
30832																																	1 🗆	•		\Box	
30836																																					
30837																																			Ш		
30838																																			ш		
30839						1						_										_	_	_	_	_	_						1		ш		
30902	_	Н			_	-	<u> </u>				_	_	4	_	_					_	4	_	4	_	_	_	_	_	-	-			-		ш	+	
30908	1	H		-	+	+-	1		\vdash	-		+	+						-	-	\dashv	\dashv	+	\dashv	\dashv	+	-	+	+	⊢	-	-	┧┕	_		+	
30909 30914	 				+	+	1			_		+	+	+	-				\dashv		\dashv	\dashv	+	\dashv	\dashv	+	+	+	+	\vdash	-		1	-	+		
30914	╁	Н	\vdash	-+	+	+			H	-	-	\dashv	\dashv	+	-	\dashv		-	-	+	\dashv	+	+	\dashv	+	+	+	+	+	┢			1	-	++	+	+
30919	┢	H		-	+	+			\vdash	\dashv		\dashv	\dashv	+	\dashv				\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	+	+	+	+	+			1	-	+	+	+
30920		H			+	+				-	+	7	+		-				7	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	+	H			1	<u> </u>	+		
30938	t	П			\top	+	T					7	\dashv	T					\dashv		\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\top	T	T			1 🗂			\top	
											T	T	1	T							7	寸	T	\neg	寸	T	T		T	Г			1 🗀		П	\top	
																																			П		
]		П	I	
																						I		I	I	I										T	
	<u></u>	Ш						Ш	Ш	[[[[[[\Box		\Box	\Box	[\perp			-		Ш		L
	<u> </u>	Ш			_		_	Ш		_		_	_	_	_				_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_			┧╚			\perp	
\vdash	₽-	Н			4		1		\vdash	_		4	4	_	_				_		4	_	4	_	_	_	_	_	_	₩			4	<u> </u>	+		
	┢	Н		-	+	+	1		\vdash	-		+	+			_			-	_	\dashv	\dashv	+	\dashv	\dashv	+	+	+	+	⊢	-		4	<u> </u>	+	+	+
-	-	Н		-	+	+	1			_		+	\dashv	+	-				\dashv		\dashv	\dashv	+	\dashv	\dashv	+	+	+	+	1	<u> </u>		1	<u> </u>	++	+	+
	1				+	+				-		-	\dashv	-+	\dashv				\dashv		+	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	+	+	+	+	 			1	<u> </u>	+		
L	1			- 1	- 1	- 1	1	1				- 1	- 1	- 1			1 1			- 1	- 1	- 1	- 1	- 1		- 1				1	ı	ı	1		1 1	- 1	1